

2年生「高志学」特別授業を実施しました

令和3年6月1日（火）に2年生「高志学」特別授業を実施しました。講師は福井県立大学 地域経済研究所 准教授 高野翔先生で、生徒は各教室で高野先生のお話をオンラインで聞きました

高野先生は長年 JICA で勤務され、2014年からは3年間ブータンで過ごされました。ブータンでは、「国民総幸福量（GNH：Gross National Happiness）」を開発の基本理念として掲げており、これは、経済成長のみに偏重せず国民が幸福感を持って暮らせる社会を国の目標とするものだそうです。高野先生はブータン国内で地域を巡回し、住民一人ひとりに対し「幸せ」に関する質問をした経験をご紹介くださり、人の心に向き合うブータンの政治に生徒達は感銘を受けていました。

また JICA 職員の頃から、地元福井県でのまちづくりに関わってこられ、2018年2月の福井豪雪の際には福井市の財政難により、中止または規模縮小となったさまざまな事業を市民一人ひとりの力で復活させる「できるフェス」を企画した話にも生徒は大変興味を持っていました。

そして最後は、現在取り組まれている福井の幸せを探究する「未来の幸せアクションリサーチ」についてお話しいただきました。幸福度が全国的にも注目されている福井県ですが、地域住民の視点からどんなときに幸せを感じるかを、「家族・友人」、「時間の使い方」、「自然」など合計9つの分野で分類し、「幸せ150指標」としてまとめたり、AIがシミュレーションした2050年の福井の社会像に向け、小さな幸せアクションを皆で考えたりする取り組みです。その中で、それぞれが「好き」なことを追究していくことが地域の幸せにつながると伺い、生徒も自分のこととして捉えようとしていました。

オンラインでの授業ではありましたが、地元でより幸せに生きるという身近で大切な内容のお話は、生徒達にとって福井のこれからと自分たちの高志学のテーマを考える良い機会となりました。

